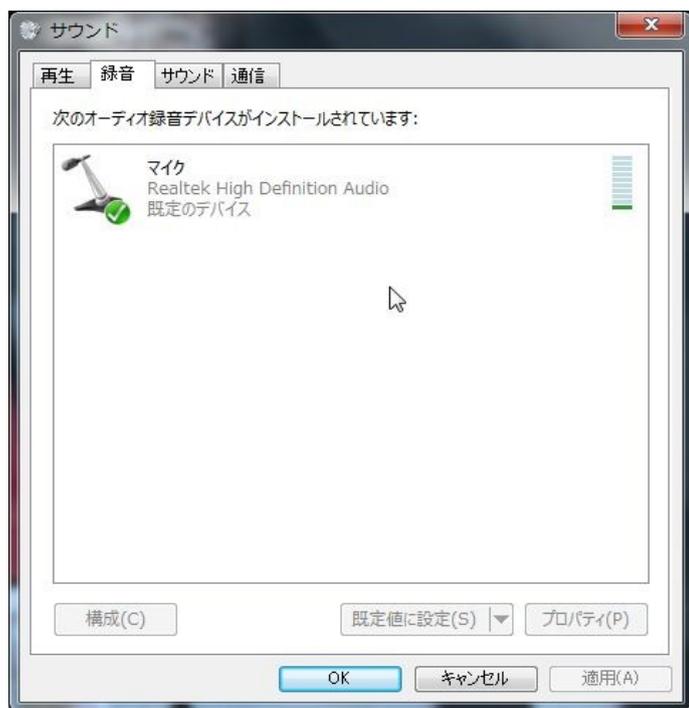
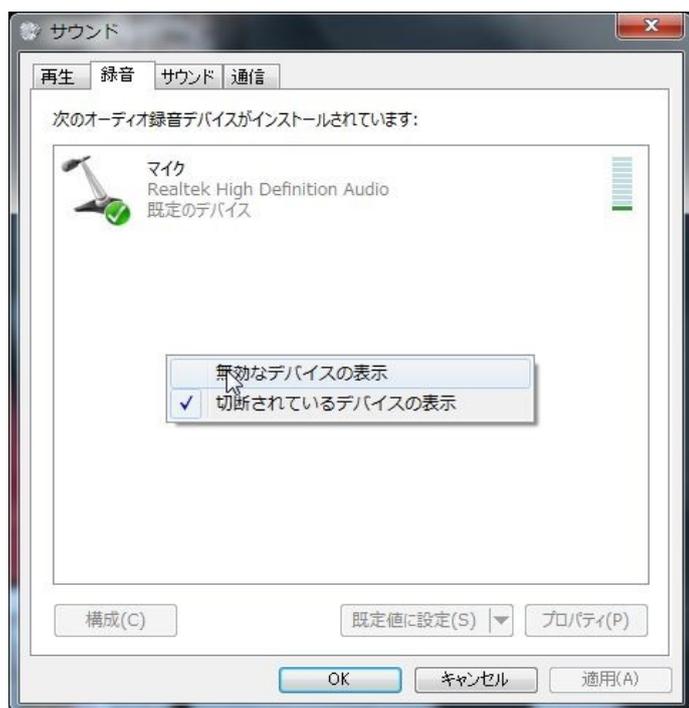


“Realtek High Definition Audio”で“ステレオミキサー”を設定する

まず、“コントロールパネル”を開きます。表示形式が“カテゴリ”の場合は“ハードウェアとサウンド→サウンド→オーディオ デバイスの管理”を選択し、表示形式が“???”アイコンの場合は“サウンド”を選択します。出ている“サウンド”ダイアログの“録音”タブを開きます。



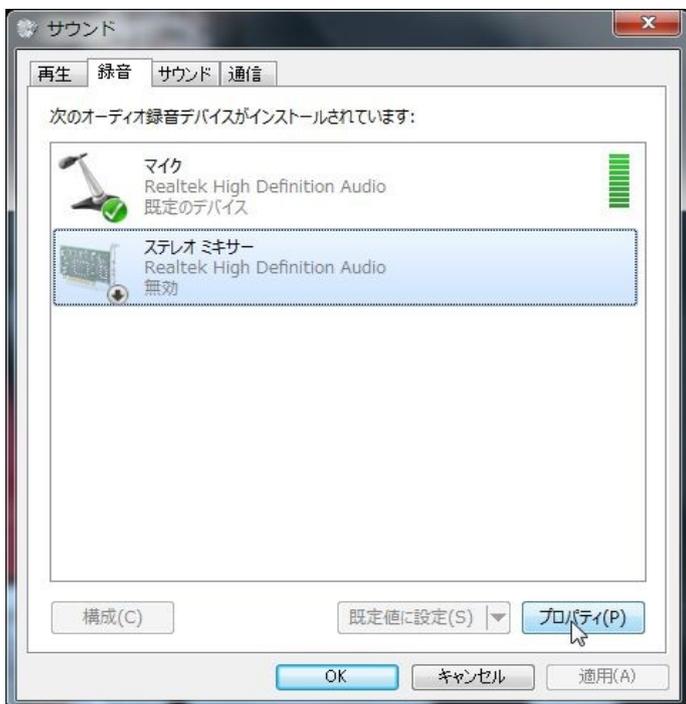
この中に“ステレオミキサー”などの、PCで再生している音を録音できるデバイスが出て欲しいところですが、PC購入時の状態では全く出てきません。



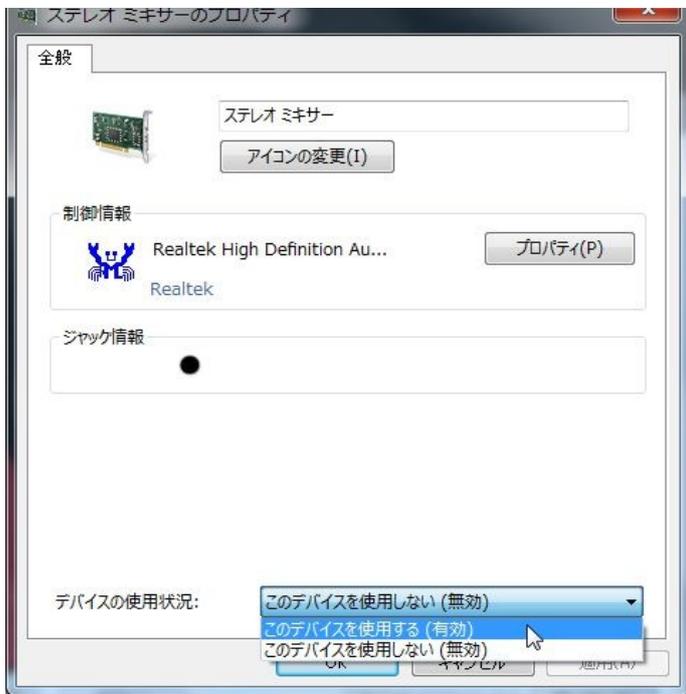
真っ白ななにもないところを右クリックします。そうすると、“無効なデバイスの表示”という選択肢があるので、それをクリックします。



“ステレオミキサー”が表示されました。ただし“無効”と書いてあります。表示されない場合、ドライバをアップデートしたりすると表示されるようになる場合もあるそうです。お試しください。



“ステレオミキサー”をクリックして選択した状態で、下の“プロパティ”をクリックします。



出てきたダイアログの中で、“デバイスの使用状況”を“このデバイスを使用する（有効）”に切り替えます。

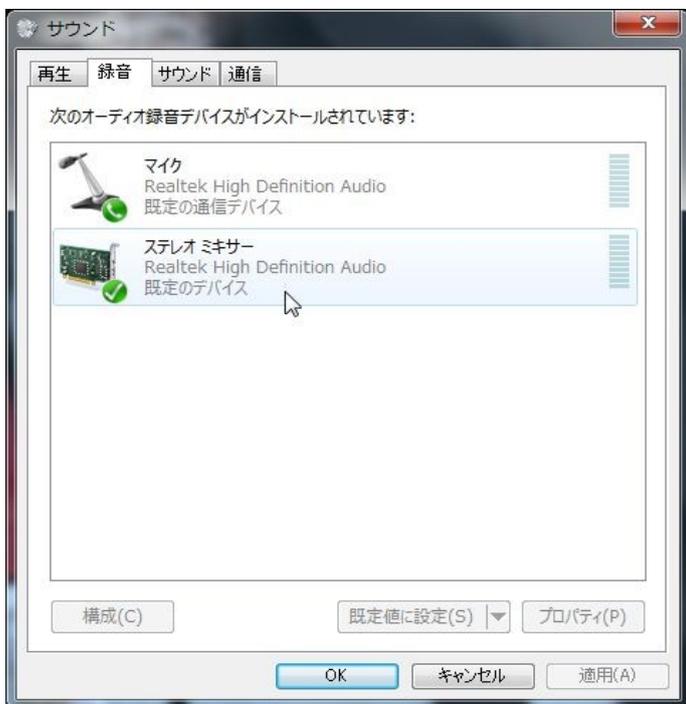


“OK”を押して確定します。





これで“ステレオミキサー”が“準備完了”状態になりました。しかし、“規定”（特にどこから録音するか指定しなかった場合に最優先で使うデバイス）に設定されていないので、ここで“既定値に設定”しておきます。

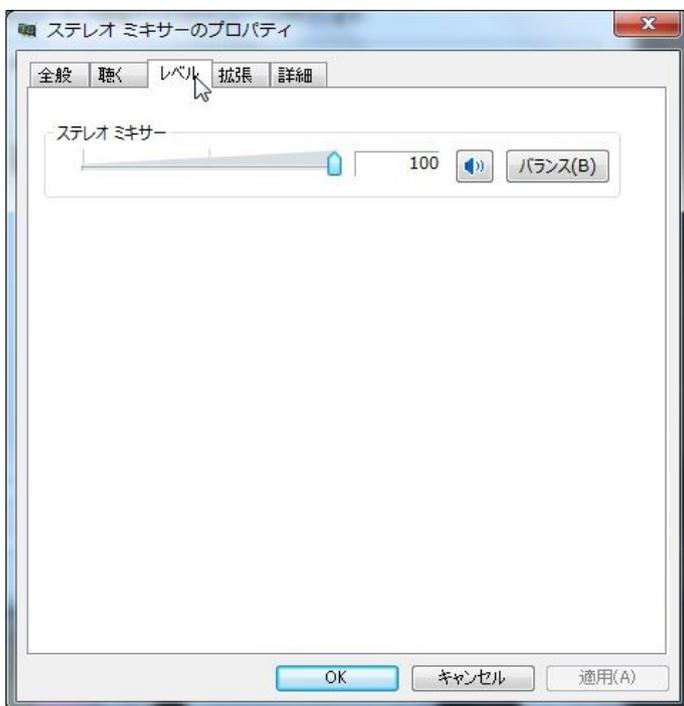


“ステレオミキサー”が“規定のデバイス”に設定されました。これで、“らじれば”からの録音に使われるようになりました。なお、“既定の通信デバイス”は録音には関係ありません。





“ステレオミキサー”からの録音レベルを設定します。“ステレオミキサー”が選択状態にあることを確認して、“プロパティ”を押します。



“レベル”タブを開き、ボリュームを設定します。通常は“100”で良いでしょう。